

# 運動 / 薬剤負荷 心筋シンチ検査のご案内

フリガナ お名前	予 約 日 時 年 月 日 時 分
-------------	-------------------------

## ＜当日のご案内＞

1. 予約時間の30分前までに「総合受付1番：紹介状をお持ちの方の受付」にお越し下さい。  
窓口に紹介状、マイナ保険証または資格確認書（お持ちの方のみ医療受給者証）  
当院を受診されたことのある方は診察券（カード）をお出し下さい。
2. 受診票を受け取り、「放射線科受付」にお越し下さい。

※負荷検査後、45分後（午前中）、2.5-3.5時間後（午後）の2回撮像があります。

- なるべく金具のない服でお越しください。  
運動負荷心筋シンチグラフィを受ける方は、靴下を着用あるいは持参し、運動しやすい服装でおいでください。
- 食事：検査前日夕食後より、食事、牛乳、ジュース、砂糖やカフェインを含む飲み物（コーヒー、紅茶、緑茶）をとらないでください。水、麦茶は飲んでもよいです。
- 朝、暁の注射後に摂取するための、軽食（パン、おにぎり、弁当など）2回分と水分500ml以上をご持参ください。
- 朝の薬：糖尿病の薬、ペルサンチン（ジピリダモール）は中止してください。他の薬は通常通り服用してください。
- 検査費用は3割負担の方で約3万5千円かかります。
- 結果（CD-ROMまたはフィルム、報告書）は後日、主治医宛に郵送となります。
- 妊娠中の方には本検査を行いません。以下の場合は検査時に注意が必要です。事前に担当医もしくはスタッフに相談してください
  - ・授乳中の方、乳幼児を抱く可能性がある方
  - ・閉所恐怖症の方
  - ・仰向けの姿勢が困難な方

※予約日以外での検査は行っておりませんので、検査（注射日）に来院できない場合は必ず2営業日前の15時までに連絡をしてください（土日祝除く）。

※検査薬は高価で翌日には使用できない特殊なお薬です。

予約日の2営業日前に発注します。

当日および前日のキャンセルは極力ご遠慮ください。

連絡先：国立病院機構相模原病院 検査担当：042-742-8331（放射線科直通）

# 負荷心筋シンチ 検査説明書

## 目的

負荷心筋シンチグラフィは、心臓に取り込まれるように設計されたラジオアイソトープという微量の放射線物質を注射して狭心症、心筋梗塞患者における心筋虚血（冠動脈に狭いところがあり心筋への酸素供給が不足した状態）の有無を調べるための検査です。その他、カテール治療や手術の効果の判定にも有用です。妊娠中でない限り、放射線障害の心配はありません。

## 方法

検査中は循環器内科医が見守り、検査室には緊急処置ができるよう、救急器具、薬剤が用意されています。負荷は、運動負荷と薬剤負荷のいずれかで行います。

- ・運動負荷：心電図モニターをつけ、静脈点滴ののち、ルームランナーに似た機器（トレッドミル）の上で早歩きをします。歩く速さ、上り坂の度合いは3分おきに上がっていきます。原則的に、一定の心拍数に達したときにアイソトープの注射を行い、さらに1分間歩きます。
- ・薬剤負荷：心電図モニターをつけ、静脈点滴ののち、アデノシン（狭心症の患者さんに心筋虚血を引き起こす薬剤）を6分間かけて注射します。途中でアイソトープを注射します。薬剤注射中に下肢の屈伸運動をする場合があります。

アイソトープ注射45-60分後、SPECT機器で心臓を撮影します（約15分間かかります）。  
撮影後、2.5-3.5時間後に再度アイソトープの注射を行い、さらに45-60分後に心臓の撮影を行います。診断能向上のため、シンチグラフィ撮影直後に同じ機器でCTを撮影します（ただし、被曝量が通常より少ない特殊なCT画像のため、通常のCTと異なり、肺などの病変を詳しく診断することはできません）。検査費用は、3割負担の方で約3万5千円です。

## 合併症

ラジオアイソトープ使用による合併症：アイソトープ皮下漏れ（0.07%）が起こった場合、皮膚障害（発赤、発疹、潰瘍）の可能性（頻度不明）があります。

運動負荷による合併症：重篤な不整脈・血圧低下・徐脈の頻度は0.008-0.24%、死亡率0.004%と報告されています。また、転倒によるけがの可能性があります。

薬剤負荷による合併症：アデノシンによる副作用は、ほてり感（35-40%）、胸痛（25-30%）、呼吸困難感（20%）、めまい（7%）、徐脈（12%）があげられますが、ほとんどは薬の投与中止後によくなります。心筋梗塞などの重篤な合併症の発生率は0.1%未満です。

副作用、合併症出現時は、医師が速やかに対処します。